

魅力発見! およびの 職場探訪

第37回

日電塗装工業株式会社
小矢部工場

高度な医療機器も ひとつのパーツから

日電塗装工業株式会社は、プラスチック製品や金属加工製品の塗装を手掛ける会社として昭和39年に神奈川県で誕生し、現在は静岡県に本社を



構える企業。東日本大震災を契機に、災害時でも事業活動が継続できるように、本社から離れた場所にも生産拠点を置くことを決め、平成25年に本市のフロンティアパークに進出しました。

小矢部工場では何を作っているのですかと同うと、人工透析装置を構成するプラスチック製・ステンレス製パーツの製造、塗装などを行い、機器メーカーに出荷しています、とのこと。透析とは、腎臓の機能が低下した患者さんの血液に蓄積した余分な水分や塩分、老廃物などを取り除く治療法のことです。

ここで、小矢部工場で行われている作業工程のひとつである「塗装」の作業工程をご紹介します。まず、オーバーヘッドコンベア（工場や倉庫などで搬送物を連続搬送するために活用される天井搬送システム）に塗装前のプラスチック製品を吊るします。吊るされた製品はコンベアによって順次搬送され、塗装ブースにおいて下塗り、上塗りの作業が行われた後、乾燥炉を通過します。この時点で製品をよく見ると、その表面に凹凸が。理由を伺うと汚れが付着しにくくなること。最後に製品を一つ一つ検査し、出荷用の段ボールに梱包されます。なお、扱う製品は全部で250種類にも及ぶのだとか。

取材終盤、ふと窓の外に目をやるとネギなどが植えられている一角を発見。不思議に

思い尋ねると、昼休みなどの時間を利用して従業員が野菜や花壇を作っているとのこと。福利厚生の一環として実施しており、収穫した野菜はみんなで分け合っていますよ、と笑顔で答えていただきました。



日本において透析を必要とする人は35万人以上といわれています。日電塗装工業は医療現場で必要不可欠な製品の製造をおして、これからも多くの人々の命を守り続けます。

働く人に聞きました



かわはら しのぶ さん
河原新吾 (2016年入社)

私は、人工透析装置の一部となるプラスチック製品や細かい板金部品などの塗装をしています。下塗り工程では、次に行う上塗り工程において塗料がきちんと付着するように、均一に塗装を行います。上塗り工程では、表面の仕上がりが凹凸になるように、塗装をしています。流れ作業のスピードに沿って作業をするため、今でも失敗することもあります。日々勉強と思いい精進しています。大変な仕事ですが、多くの患者さんが使われる医療機器ですので心を込めて塗装に励んでいます、ということだと思います。

うちの会社の強み

- その1 安定した受注量による生産体制の確保
- その2 決算に応じた待遇面の充実

■事業所データ

事業所名	日電塗装工業株式会社 小矢部工場
設立	平成25年
業種	プラスチック・金属製品の 塗装・製造
住所	フロンティアパーク17
電話	(69)1364